

吉上推設事第 82 号
令和 7 年 12 月 3 日

歩掛参考見積募集要領

有資格業者 各位

独立行政法人水資源機構
吉野川上流総合管理所長 津久井 正明

次のとおり、工事の歩掛参考見積を募集します。

令和 7 年 12 月 3 日

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、吉野川上流総合管理所で予定している工事の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

なお、この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和 7・8 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成 6 年 5 月 31 日付け 6 経契第 443 号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
- (2) 提出期間：令和 7 年 12 月 12 日から令和 7 年 12 月 17 日まで
ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前 9 時から午後 4 時まで
- (3) 提出先及び宛名
独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所長 津久井 正明 宛
【担当】経理課 松岡（マツオカ）、福井（フクイ）、石川（イシカワ）

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

電話：0883-72-2050 FAX：0883-72-0727

メールアドレス：nyukei_ikeda@water.go.jp

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、FAXまたはメールのいずれかの方法によりご提出ください（いずれも印影のあるものに限る）。

(5) 見積有効期限

令和8年3月31日までとし、必ず記載してください。

(6) 提出様式

様式は自由としますが、別紙1を参考に以下の内容を必ず記載してください。

- ・文書番号（吉上推設事第82号）
- ・宛名（独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所 津久井 正明）
- ・提出者名（代表者 又は 代表者から委任を受けた者）と押印
- ・提出日

4. 参考見積内容

(1) 工事作業項目、作業内容及び作業数量

本参考見積の対象とする工事作業内容は、別添資料-1のとおりとします。

(2) 工事費の構成と歩掛見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する工事費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接工事費のうち、上記（1）「工事作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な作業員、資機材の人数等を徴取します。

(3) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度公共工事設計労務単価」における「調査対象職種の定義・作業内容」によるものとします。

(4) 見積条件

見積価格は、消費税抜きとしてください。また、見積書に消費税を含んでいない旨を記載してください。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面により提出してください。

(1) 提出期間：令和7年12月4日から令和7年12月9日まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後4時まで

(2) 提出場所：3. (3) に同じ。

(3) 提出方法：3. (4) に同じ。

(4) 提出様式：様式は自由としますが、別紙2を参考に以下の事項を必ず記載してください。

- ・文書番号（吉上推設事第 82 号）
- ・宛名（独立行政法人水資源機構 吉野川上流総合管理所 津久井 正明）
- ・提出者名（代表者 又は 代表者から委任を受けた者）と押印
- ・提出日
- ・質問事項

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和 7 年 12 月 11 日から令和 7 年 12 月 17 日まで
- (2) 閲覧方法：吉野川上流総合管理所ホームページの新着情報に掲載します。
吉野川上流総合管理所ホームページ
(<https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/index.html>)

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせて頂きます。

8. 問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせて頂くことがあります。

別紙1 <見積書参考様式> (例)

※様式は自由となります。以下の一例に記載する事項は必ず記載をお願いいたします。

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構

吉野川上流総合管理所長 津久井 正明 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 氏 名

印

見 積 書

(件名) 吉上推設事第82号にかかる参考見積案件

作業項目	作業内容	作業数量
○○	○○○○	○m ³ 当たり
△△	△△△△	○m ³ 当たり
□□	□□□□	○m ³ 当たり

見積有効期限：令和8年3月31日

別紙2 <質問様式例> (例)

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構

吉野川上流総合管理所長 津久井 正明 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 氏 名

印

質 問 書

(件名) 吉上推設事第82号にかかる参考見積案件

番号	質問事項
①	~~~~~。~~~~~。
②	~~~~~。~~~~~。
③	~~~~~。~~~~~。

- 注) 1. 質問事項ごとに番号を付するものとする。
2. 質問は代表者及び代表者から委任状により委任を受けた者が行うものとする。
3. 持参・郵送で質問事項が2ページ以上に及ぶ場合、袋との上、割り印を行うものとする。

※本様式は、水資源機構本社HPの以下に掲載しています。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/keiyaku/service/ukeoi/kouji/kouji.html>

(ホーム → 入札・契約情報 → 様式提供サービス → 請負契約等において使用する様式 → 建設工事に係る様式 → 番号10)

早明浦ダム再生事業増設洪水吐き工事 歩掛参考見積項目一覧

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備考	見積番号
工事用道路工：工事用道路6号線					
ウォールソーイング	鉛直	m	27	参考図1～6	見積1-1
コアボーリング	φ125	m	26	参考図7～17	見積1-2
埋設工：コア削孔					
コアボーリング	φ125 無収縮モルタル充填含む	m	3	参考図18～21	見積1-3

【見積1-1】見積書の様式〈例〉

項目及び規格	単位	員数及び 数量	単価	摘要
① ウォールソーイング 鉛直				【10m当り】
土木一般世話役	人			
特殊作業員	人			
普通作業員	人			
コンクリート壁面カッタ [油圧式ウォールソー] 最大切断深さ70cm級	日			
燃料費（ガソリン）	L			
ブレード 26吋	枚			単価記載願います。
ブレード 38吋	枚			単価記載願います。
ブレード 50吋	枚			単価記載願います。
金属拡張式アンカー M-12×50	本			
消耗工具費	組			単価記載願います。
諸雑費	式	1		労務費合計額の○%

(1) コンクリートブロック積み鉛直部切断にかかるウォールソーイング10m当りの労務構成を記載してください。

上表に明示している歩掛構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。

(2) 見積り条件

- ・ ウォールソーイングは、ウォールソーイングの機械を設置し、コンクリートブロック積みを切断する作業として下さい。
- ・ ブロック積み擁壁の下部50cmはウォールソーイング機械が干渉するため切断できないため、別見積としてコアボーリングを計上するので、今回見積対象外とします。
- ・ 諸雑費は、その他工具等の費用であり、必要に応じて労務費の合計額に対する率を記載して下さい。
※記載する場合は何の費用か記載をお願いします。
- ・ 機械損料記載の場合、規格及び単価の記載をお願いします。
例) ラフテレーンクレーン賃料(油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次) 25t吊)
- ・ 機械は損料単価か賃料単価の記載をお願いします。

(3) 賃金対象時間：8時間（実作業時間7時間）昼間作業

【見積1-2】見積書の様式〈例〉

項目及び規格	単位	員数及び 数量	単価	摘要
② コアボーリング φ125				【10m当り】
土木一般世話役	人			
特殊作業員	人			
普通作業員	人			
コンクリート穿孔機〔電動式コアボーリングマシン〕 最大穿孔径 φ25cm	日			
発動発電機運転〔ガソリンエンジン駆動〕 5KVA	日			
ダイヤモンドビット φ125	本			
チューブ φ125	本			
アダプター φ125	本			
金属拡張式アンカー M-12×50	本			
消耗工具費	組			単価記載願います。
諸雑費	式	1		労務費合計額の○%

- (1) コンクリートブロック積み鉛直部切断にかかるコアボーリング(削孔方向)10m当りの労務構成を記載してください。
上表に明示している歩掛構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。

(2) 見積り条件

- ・ コアボーリングは、コアボーリングの機械を設置し、コンクリートブロック積みを切断する作業として下さい。
- ・ ブロック積み擁壁の下部50cmはウォールソーイング機械が干渉するため切断できないため、コアボーリングをします。
それ以外の範囲はウォールソーイングで切断するため、別見積とし、今回見積の対象外とします。
- ・ 諸雑費は、その他工具等の費用であり、必要に応じて労務費の合計額に対する率を記載して下さい。
※記載する場合は何の費用か記載をお願いします。
- ・ 機械損料記載の場合、規格及び単価の記載をお願いします。
例) ラフテレーンクレーン賃料(油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次) 25t吊)
- ・ 機械は損料単価か賃料単価の記載をお願いします。

- (3) 賃金対象時間：8時間（実作業時間7時間）昼間作業

【見積1-3】見積書の様式〈例〉

項目及び規格	単位	員数及び 数量	単価	摘要
② コアボーリング φ125				【10m当り】
土木一般世話役	人			
特殊作業員	人			
普通作業員	人			
コンクリート穿孔機〔電動式コアボーリングマシン〕 最大穿孔径 φ25cm	日			
発動発電機運転〔ガソリンエンジン駆動〕 5KVA	日			
ダイヤモンドビット φ125	本			
チューブ φ125	本			
アダプター φ125	本			
金属拡張式アンカー M-12×50	本			
消耗工具費	組			単価記載願います。
諸雜費	式	1		労務費合計額の○%

- (1) 放流水管設備部止水板設置にかかるコアボーリング(削孔方向)及び無収縮モルタル充填10m当りの労務構成を記載してください。

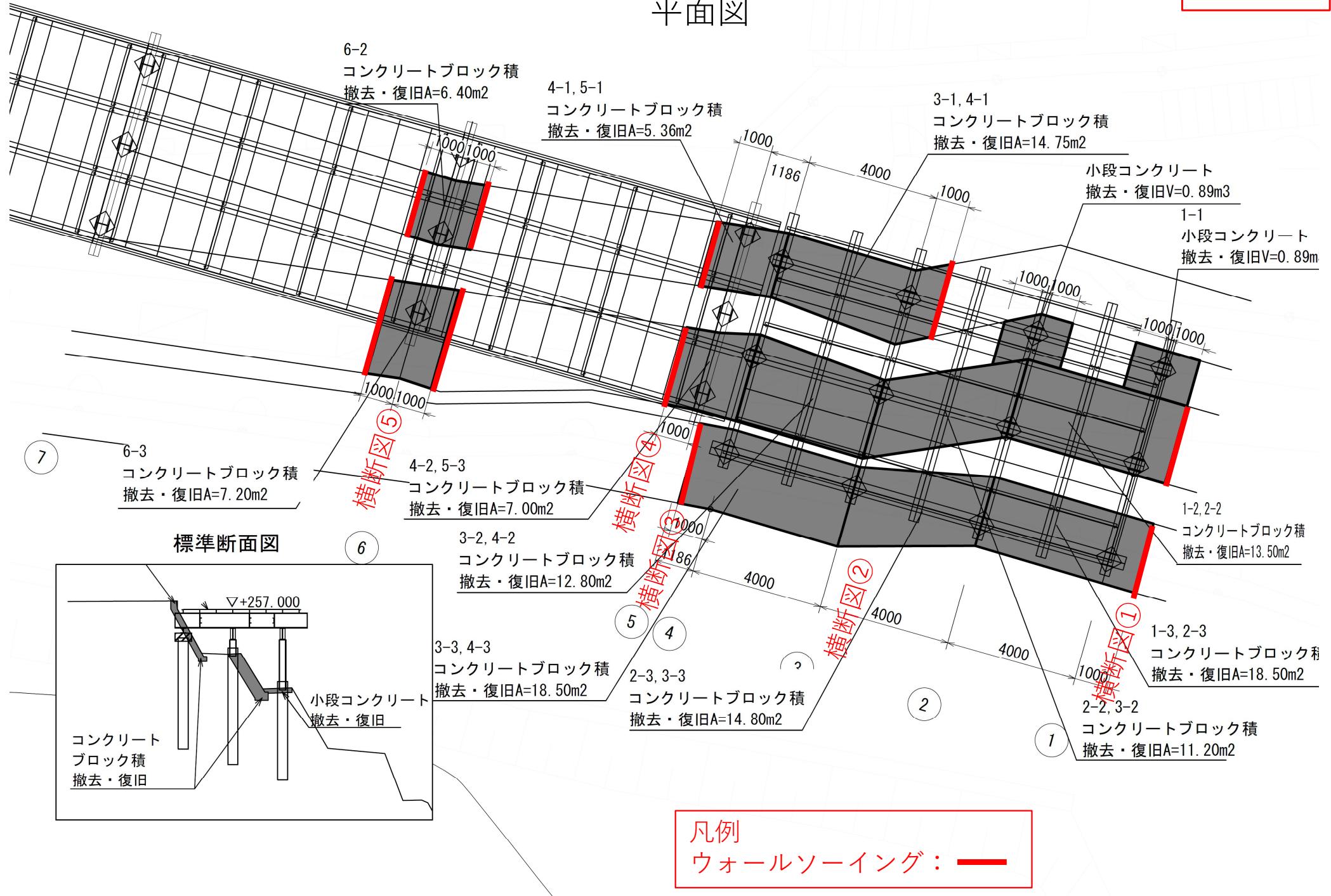
上表に明示している歩掛構成は機構が想定しているものであり、貴社の仕様に変更して頂いても構いません。

(2) 見積り条件

- ・ コアボーリングは、コアボーリングの機械を設置し、コア削孔及び無収縮モルタル充填する作業として下さい。
- ・ 無収縮モルタル材料費、止水板材料費、コンクリート殻処分費は別計上するため、見積対象外とします。
- ・ 諸雜費は、その他工具等の費用であり、必要に応じて労務費の合計額に対する率を記載して下さい。
※記載する場合は何の費用か記載をお願いします。
- ・ 機械損料記載の場合、規格及び単価の記載をお願いします。
例) ラフテレーンクレーン賃料(油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次) 25t吊)
- ・ 機械は損料単価か賃料単価の記載をお願いします。

- (3) 賃金対象時間：8時間（実作業時間7時間）昼間作業

平面図



横断図①

DL=270.0

覆工板

MD (M) 208X1000X3000

DL=265.0

対傾構

C300X90X9X13

DL=260.0

主桁

H900X300X16X28

DL=255.0

敷桁

H300X300X10X15

DL=250.0

DL=245.0

$$7 \times 1000 = 7000$$

ウォールソーイング

 $\nabla + 257.000$ 覆工板ズレ止め材
[200X80X7.5X11]桁受
H700X300X13X24

3051 900 208
700
4859

支柱
H400X400X13X21

6730

7080

5970

垂直コア

垂直コア

横断図②

DL=270.0

覆工板 MD (M) 208X1000X3000

DL=265.0

主桁
H900X300X16X28

DL=260.0

敷桁
H300X300X10X15

DL=250.0

支柱 H400X400X13X21

DL=245.0

対傾構
C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材
[200X80X7.5X11]

桁受
H700X300X13X24

ウォールソーイング

垂直コア

横断図③

DL=270.0

覆工板

MD (M) 208X1000X3000

DL=265.0

主桁

H900X300X16X28

DL=260.0

DL=255.0

DL=250.0

DL=245.0

敷桁

H300X300X10X15

支柱

H400X400X13X21

対傾構

C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材
[200X80X7.5X11]

桁受

H700X300X13X24

ウォールソーイング

$$7 \times 1000 = 7000$$

 $\nabla +257.000$

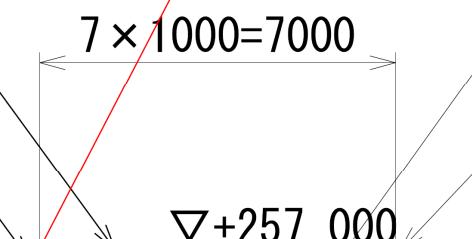
4-34

7180

5510

4250

5284 900 208
700
7092



横断図④

DL=270.0

DL=265.0

DL=260.0

DL=255.0

DL=250.0

DL=245.0

覆工板
MD (M) 208X1000X3000

主桁
H900X300X16X28

ブレス
L150X150X12

垂直コア

 $3 \times 2000 = 6000$

△+256.897

対傾構
C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材
[200X80X7.5X11]

桁受
H594X302X14X23

ウォールソーイング

1316
594
4812
6721

継ぎ材
[200X90X8X13.5]

6060

5620

4670

1000

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

横断図⑤

DL=270.0

DL=265.0

DL=260.0

DL=255.0

DL=250.0

DL=245.0

覆工板
MD (M) 208X1000X3000

主桁
H900X300X16X28

ウォールソー

支柱
H400X400X13X21

ブレス
L150X150X12

継ぎ材
[200X90X8X13.5]

 $3 \times 2000 = 6000$

△+255.827

対傾構
C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材
[200X80X7.5X11]

桁受
H594X302X14X23

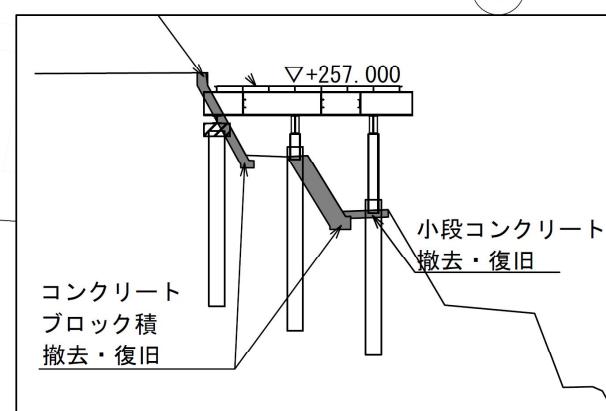
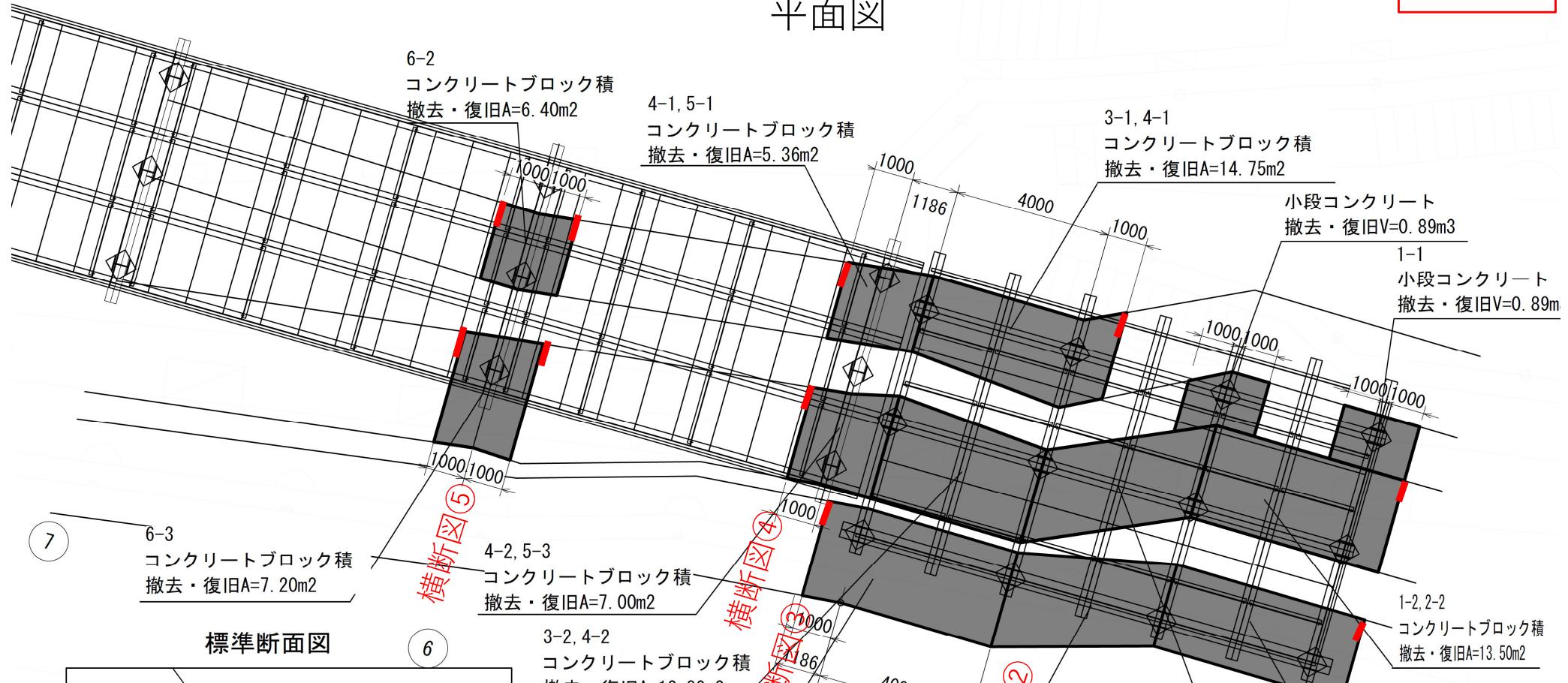
1316
594
5346
7256

ウォールソーイグ

4510 6-3
3860
6-2
1780

3600
500
3200
500
500

平面図



凡例
コアボーリング： —

横断図①

DL=270.0

覆工板
MD (M) 208X1000X3000

DL=265.0

DL=260.0

DL=255.0

DL=250.0

DL=245.0

主桁
H900X300X16X28

敷桁
H300X300X10X15

垂直コア

垂直コア

対傾構
C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材
[200X80X7.5X11]

桁受
H700X300X13X24

3051 900 208
700
4859

支柱
H400X400X13X21

$$7 \times 1000 = 7000$$

△ +257.000
コアボーリング

1-3

6730

7080

5970

拡大図1

1-2

910

490

拡大図2

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

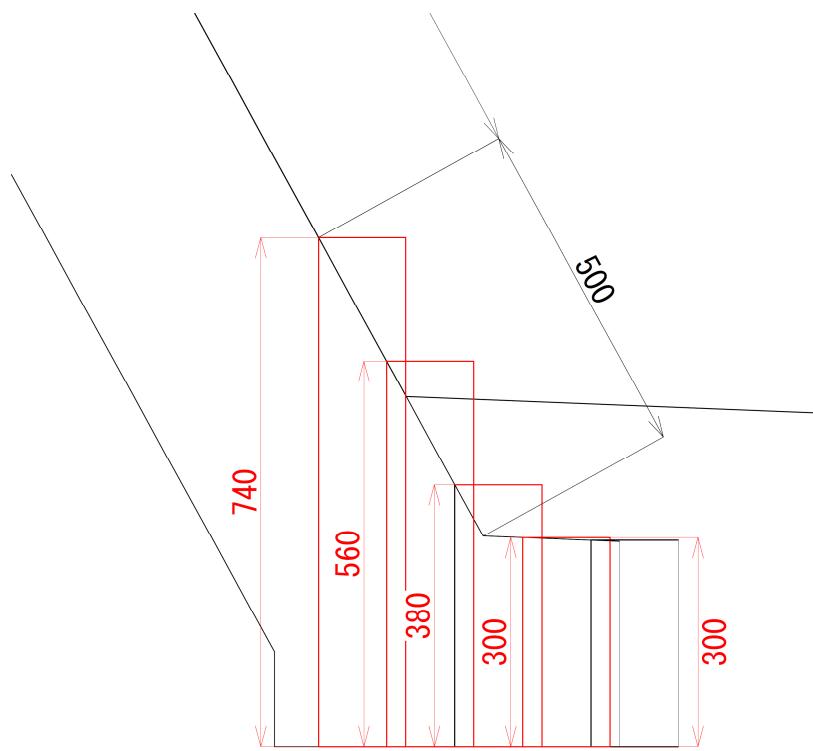
500

500

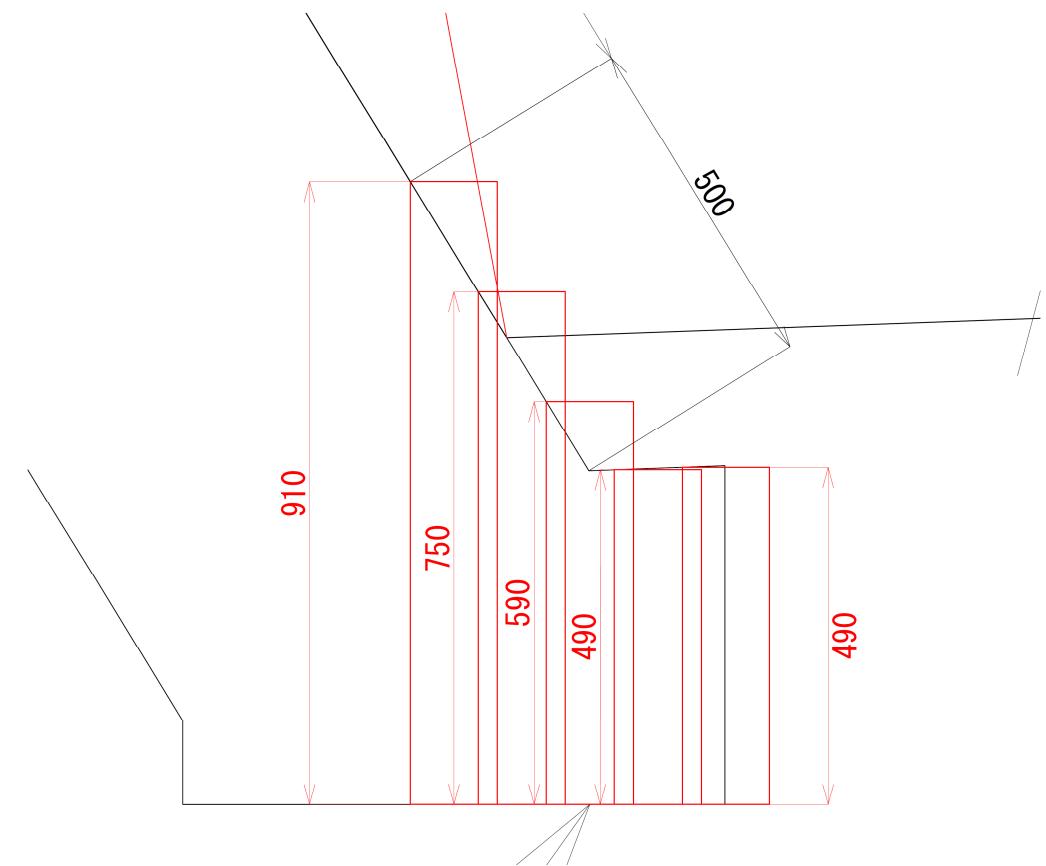
500

500

拡大図1



拡大図2



横断図②

DL=270.0

DL=265.0

DL=260.0

DL=255.0

DL=250.0

DL=245.0

覆工板

MD (M) 208X1000X3000

主桁

H900X300X16X28

敷桁

H300X300X10X15

支柱

H400X400X13X21

対傾構

C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材
[200X80X7.5X11]

桁受

H700X300X13X24

$$7 \times 1000 = 7000$$

 $\nabla +257.000$

コアボーリング

3-1

7570

5670

480

299

500

2100

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

500

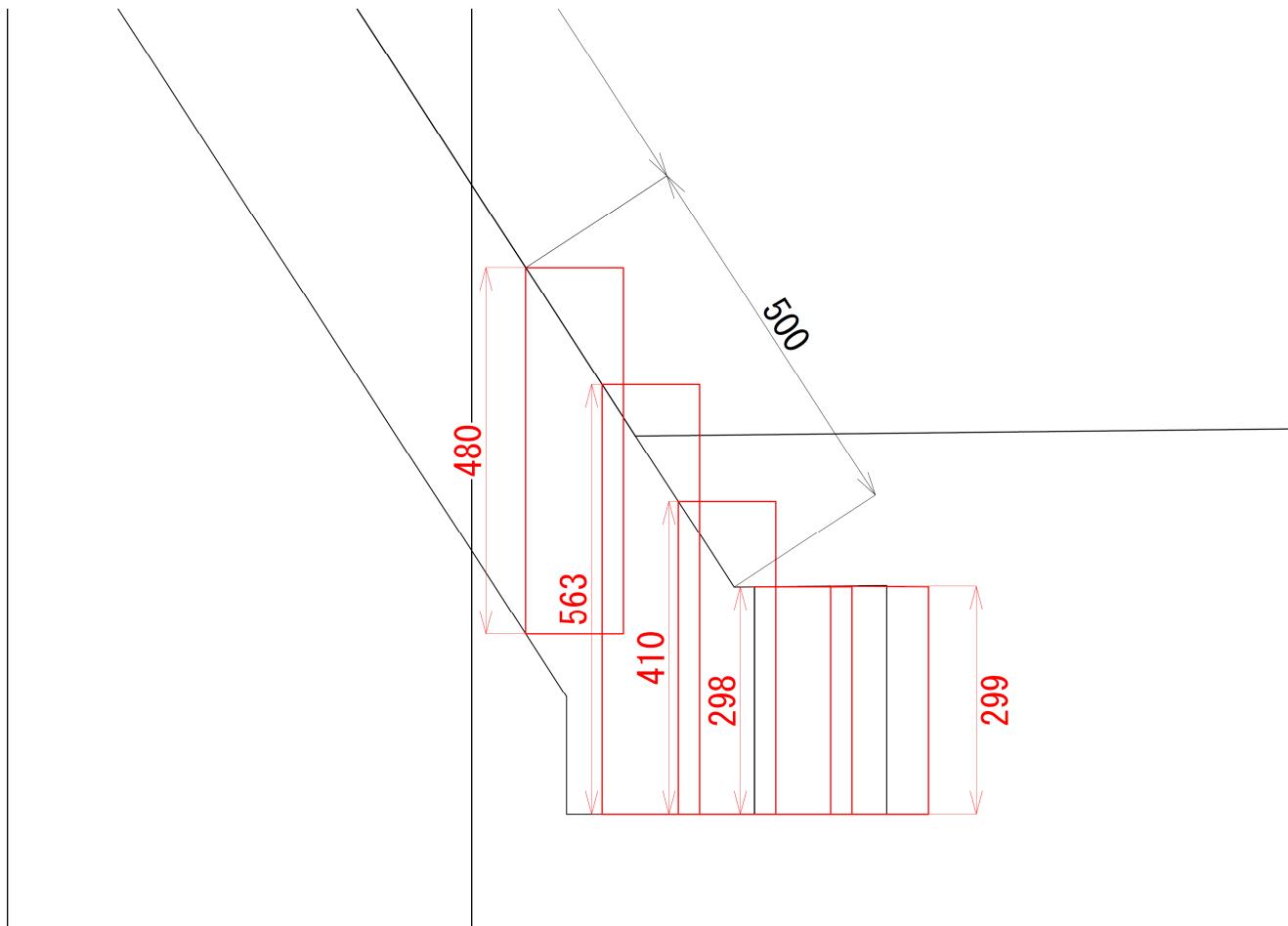
500

500

500

500

拡大図3



横断図③

DL=270.0

覆工板

MD (M) 208X1000X3000

DL=265.0

主桁
H900X300X16X28

DL=260.0

敷桁 H300X300X10X15 拡大図4

DI =250_0

支柱 H400X400X13X21

DL=245.0

ヨアボーリング

$\nabla +257$ 000

4-

-740

4

०३

1

1

○

15

L3

W

1

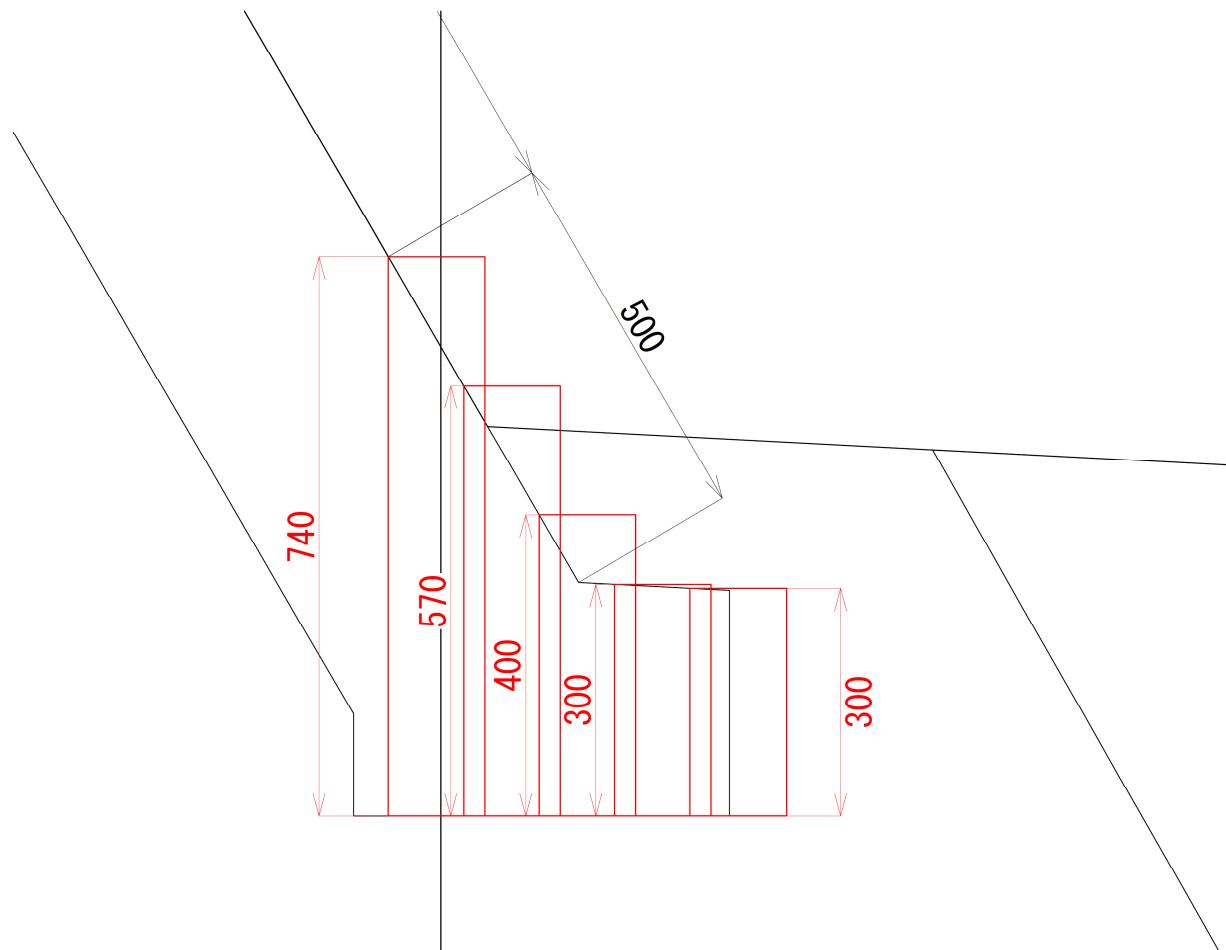
対傾構

C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材
[200X80X7.5X11]

桁受
H700X300X13X24

拡大図4



横断図 4

DL=270.0

DL=265.0

DL=260.0

DL=255.0

DI =250 0

DI =245.0

覆工板 MD (M) 208X1000X3000

主桁
H900X300X16X28

~~ブレス
L150X150X12~~

垂直コア

対傾構
C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材 [200X80X7.5X11]

桁受
H594X302X14X23

継ぎ材
X8X13.5

〔200X90X8X13.5

$$3 \times 2000 = 6000$$

▽+256.89

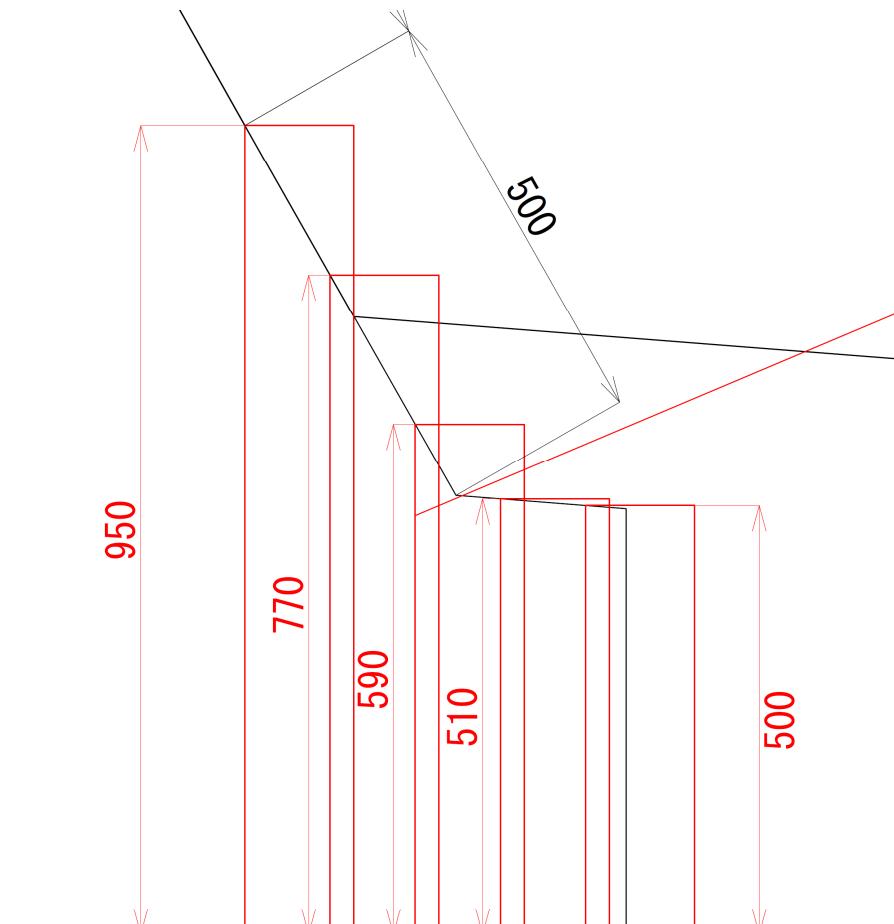
コアボーリング

4812 1316
594 6721

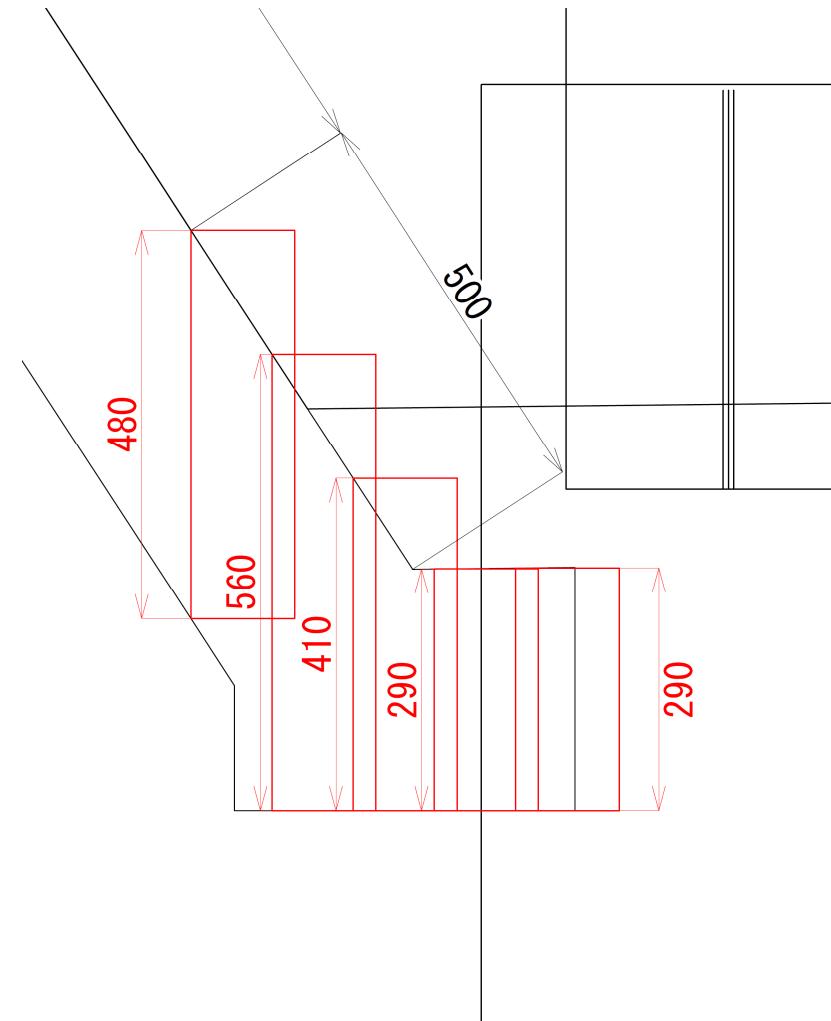
中圖大拡

拡大図6

拡大図5



拡大図6



横断図⑤

DL=270. 0

DL=265. 0

DL=260. 0

DL=255. 0

DL=250. 0

DL=245. 0

覆工板
MD (M) 208X1000X3000

主桁
H900X300X16X28

ウォールソー

支柱
H400X400X13X21

ブレス
L150X150X12

継ぎ材
[200X90X8X13. 5]

対傾構
C300X90X9X13

覆工板ズレ止め材
[200X80X7. 5X11]

桁受
H594X302X14X23

コアボーリング
1316
594
534
7256

$$3 \times 2000 = 6000$$

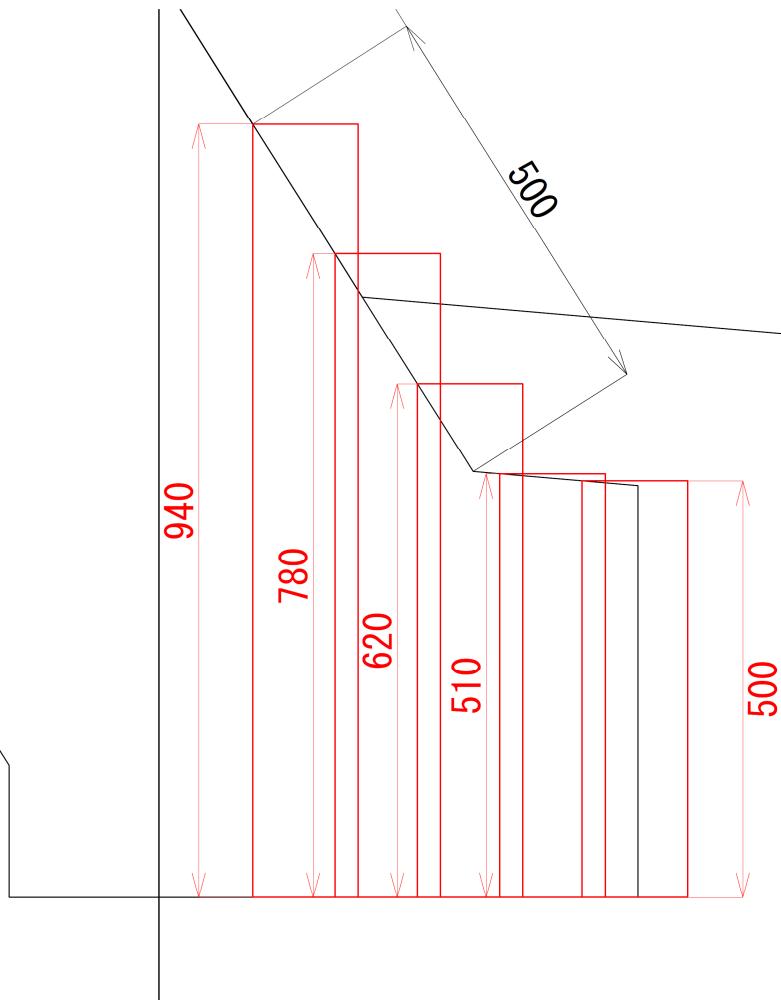
 $\nabla +255. 827$

4510 6-3
386 C 500
6-2
540 500
1780

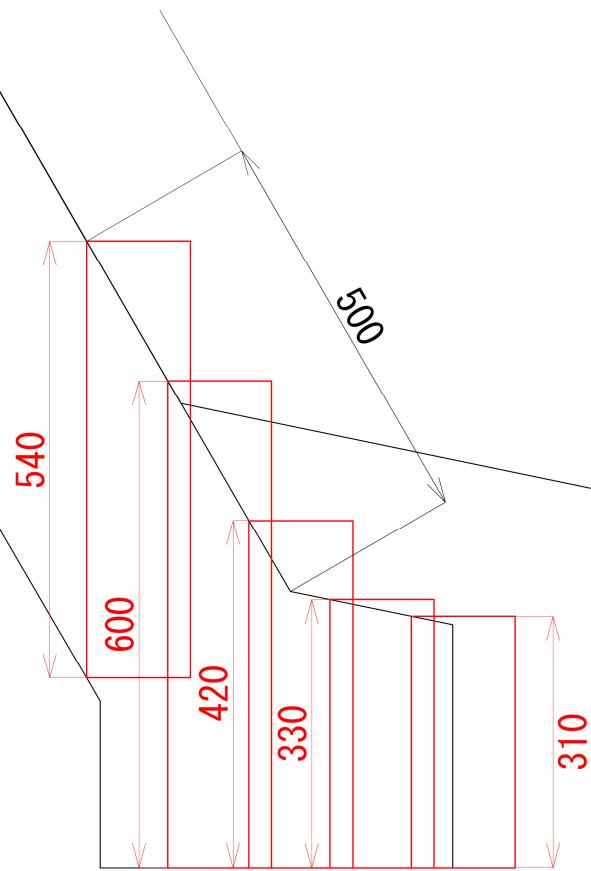
拡大図7

拡大図8

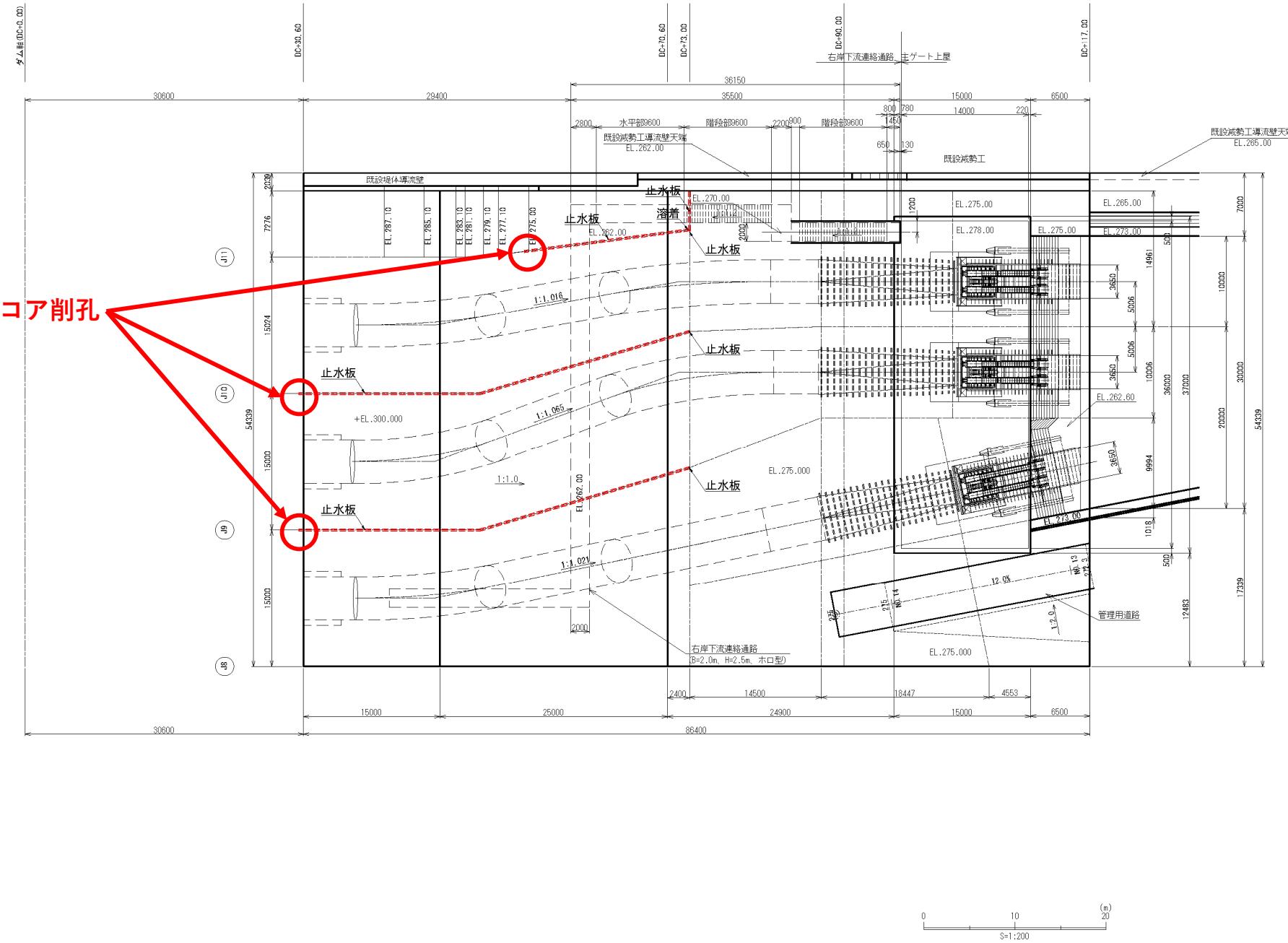
拡大図7



拡大図8



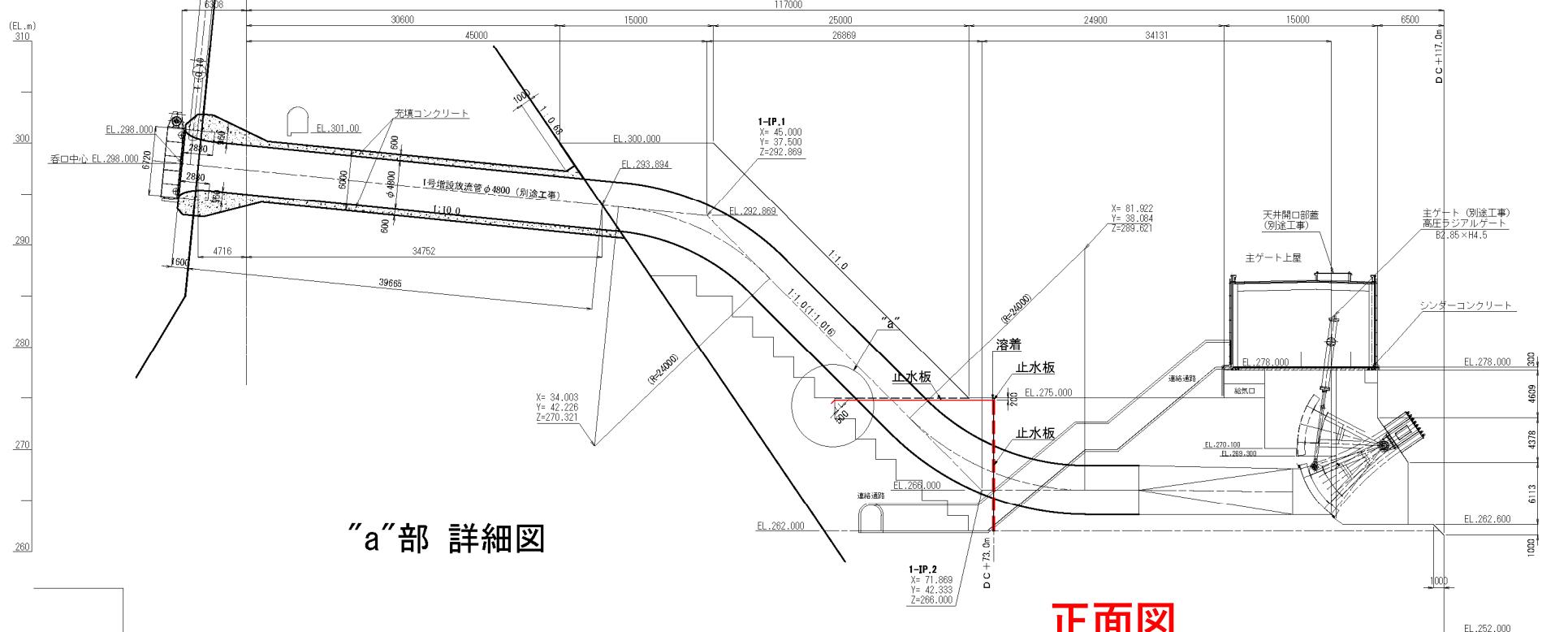
増設放流設備部止水板設置平面図



J11止水板設置構造図

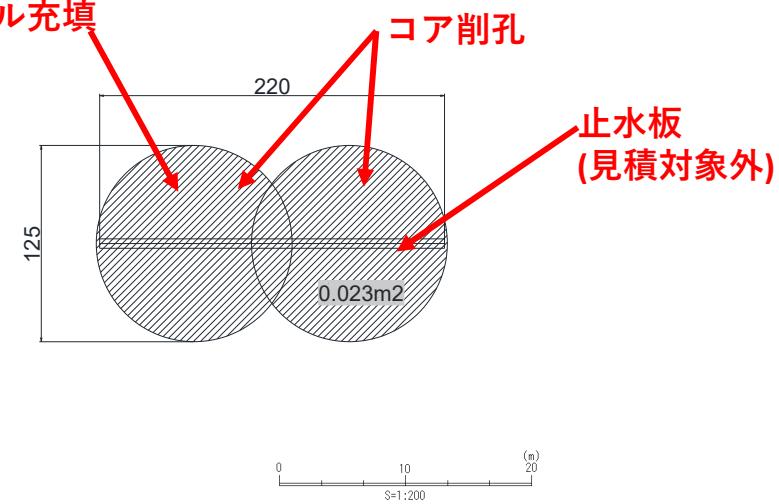
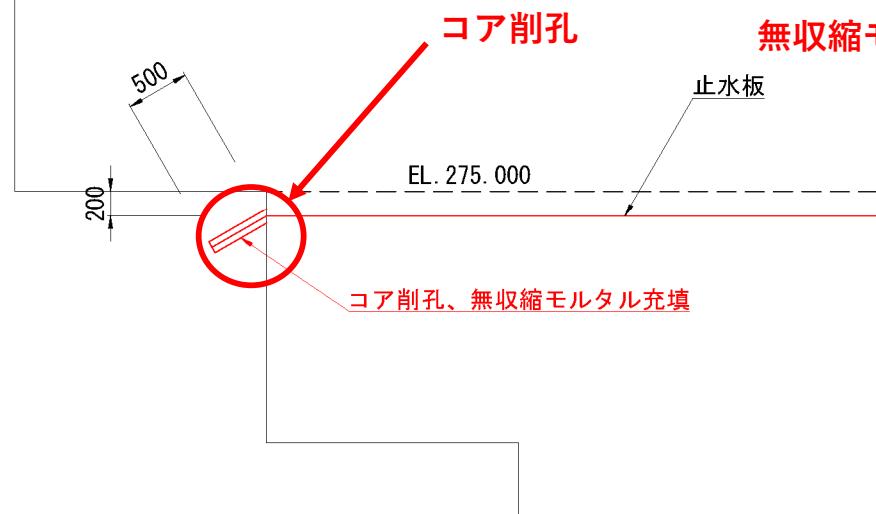
S=1:200

注意：縦断図の水平距離は、展開距離ではなく投影寸法である。



“a”部 詳細

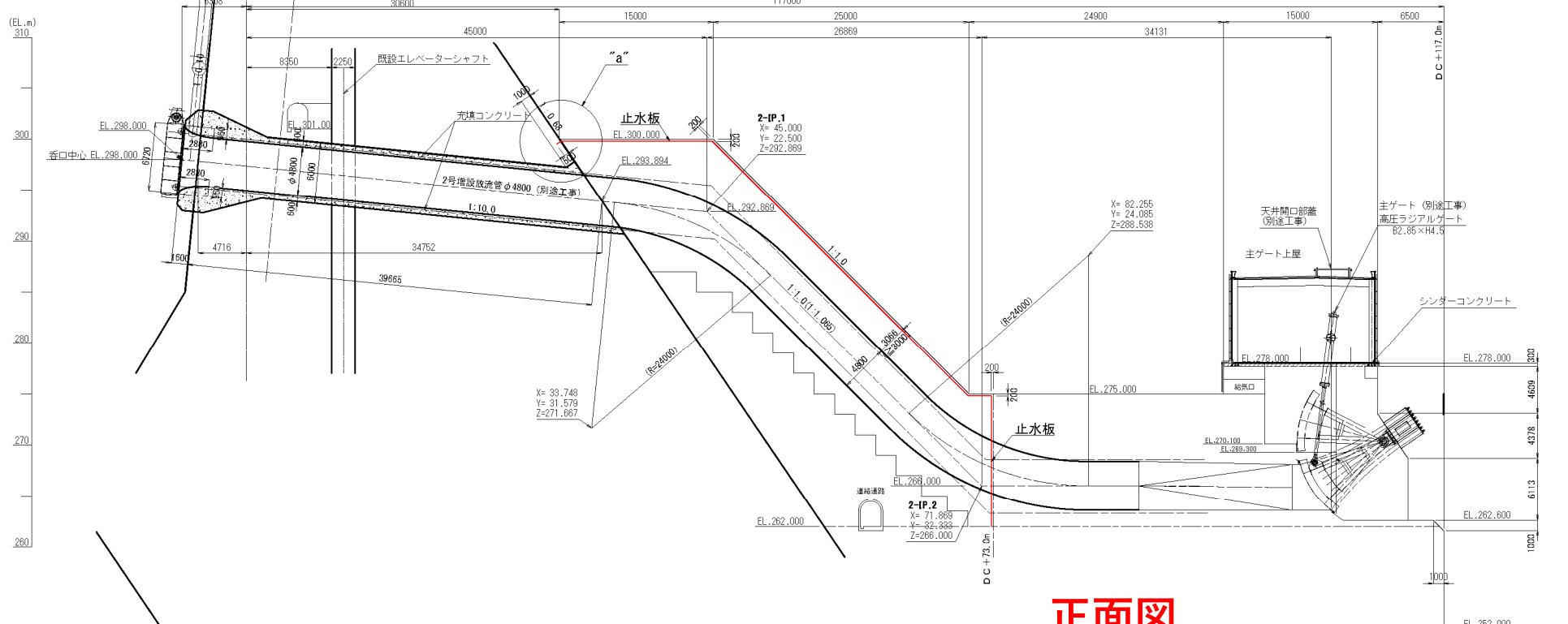
正面图



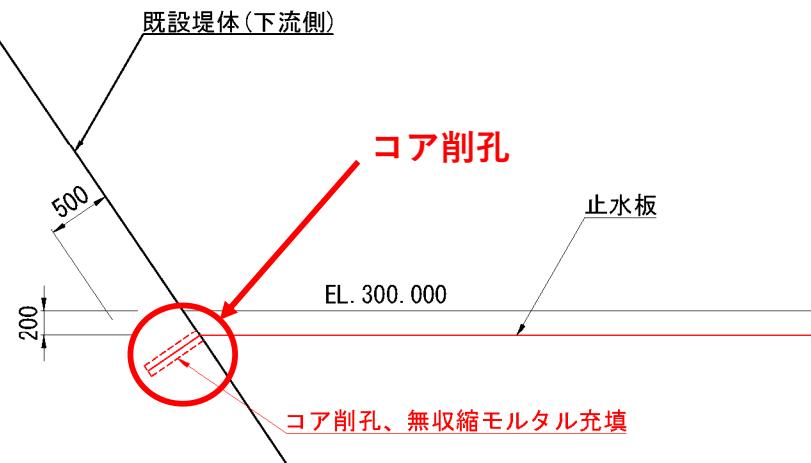
J10止水板設置構造図

S=1:200

注意: 縦断図の水平距離は、展開距離ではなく投影寸法である。



“a”部 詳細図



正面図

無収縮モルタル充填

